

14 天理市本通り商店街協同組合

商店街活性化イベント「天理本通りマルシェ本ぶらサンデー」

住 所	〒632-0016 奈良県天理市川原城町327		
U R L	http://tenri-hondori.com/		
設 立	昭和36年8月	主 な 業 種	小売り(商店街店舗)
組 合 員 数	92人	出 資 金	1,360千円

■背景・目的

天理本通り商店街は奈良県で最も長いアーケードを持つ商店街であり、天理教教会本部への参道として発展してきたが、商店経営者の高齢化による廃業やコロナ禍などの影響もあってシャッター街化が進んでいる。

そんな折、(株)天理時報社において天理駅周辺の活性化・地域振興・地域貢献を目的とした企業活動が計画され、同社主催の第1回「天理本通りSDGs マルシェ「本ぶらサンデー」」が開催された。イベントは大好評に終わり、第2回以降の企画・運営を当組合にて引き継ぐ事となった。

■取組みの手法と内容

第1回の企画・運営スキームを引き継ぎ、第1回から半年毎に第2回・第3回のイベントを実施。イベント主催のノウハウについては(株)天理時報社よりアドバイスを受け、来場者・出店者アンケートの結果も踏まえながら第1回の内容をベースに毎回ブラッシュアップし、キッチンカーや模擬店の配分、ステージイベント等の追加を行った。未だ手探りの状態ながら第2回・第3回も好評のうちに終了し、(令和5年)11月12日には第4回目を開催した。

イベント告知は従来のポスター・チラシ配布に加え、SNS(Instagram)にて専用アカウントを作成し、第1回の40店前後を目安に、出店募集と合わせて開催告知を行っている。出店応募の反応も多く、目安の出店数規模は維持できているが、駅前から真東に続くアーケードの東端まで来場客の導線が伸びず、集客格差に繋がっている。導線を引き延ばす対策として、スタンプラリー的イベントやイベントステージ・模擬店等の配置配分など、距離を忘れて楽しめる模擬店・イベントを模索している。

今後は、予算との兼ね合いもあるが定期開催・開催規模拡大や規模を縮小して毎月開催するなど、イベント自体の企画に加え、商店街内の商店をより深く巻き込んだ開催など、商店街の活性化に繋がる方向性を目指す。

■成果とその要因

主催を引き継いだ時点ではイベント企画・運営に関するノウハウを全く持っていなかった為、第1回主催の(株)天理時報社をアドバイザーとして招聘出来た事は非常に大きい。加えて広告宣伝物の制作等を依頼出来る為、情報共有・理解度の高い協力を得る事が出来た。

また昨今のSNSによる出店応募などの反応は非常に早く、告知方法として無くてはならないツールになっている。



イベント主催企業から引き継いだSNSを活用する企画・運営スキームに加え、更なるノウハウのアドバイスと、現場の声をベースにしたスキームのブラッシュアップ